



高校 NEWS

—高校生の「イマ」を紹介します!—

高梁城南高校で「株式会社」が誕生しました!

私たち高梁城南高校では、2025年夏、地域と連携して「JONAN ホールディングス株式会社」を設立しました。ものづくり系の専門高校が自ら株式会社を立ち上げるのは、全国でもめずらしい取り組みです。

この会社は、生徒が考えた企画をビジネス化し、実際に商品やサービスとして展開できる仕組みになっています。各学科の学びを活かした提案や、地域の皆さんからの依頼を受けて仕事を進めることも



あり、学校の中に“リアルな社会”が入ってきたような感覚があります。

生徒は経営企画、広報、営業などの部署に分かれて会社運営を担っており、私も営業部として企業を訪問し、活動資金

の支援をお願いしたり、JONAN ホールディングスの取り組みを直接 PR したりしています。

学校の中に“会社”があることで、自分のやつみたいことを本気で実現できる環境になってきました。「好き」や「得意」を、誰かの役に立つかたちに。そんな挑戦が、高梁城南高校ではすでに始まっています。



環境科学科 2年
高原 明日葉さん

こどもまんなか通信

問社会教育課 ☎21-1514

子どもの夢を育む体験事業

たかはし広がる子どもの夢事業実行委員会では、子どもたちの職業への興味・関心や将来について考えるきっかけをつくることを目的に、子どもたちが実際の仕事を体験する「わくわくワーク」を実施しています。

この事業は、市内の事業者に企画内容の提案や当日の運営にご協力いただき、まち全体で子どもたちを育む環境づくりを進めています。

実施した事業の一部を紹介します。

●放送局のおしごと体験（提案：株吉備ケーブルテレビ）

●バリスタのおしごと体験

（提案：スターバックスコーヒー 蔦屋書店高梁市図書館店）

●トマト農家のおしごと体験（提案：黒岩トマト農園）

わくわくワークの他にも子どもたちの成長を支援する事業を多く実施しています。参加者募集や実施状況を社会教育課公式Instagramに投稿していますので、ぜひフォローしてください。



はしれ!よしお

市長コラム 文/石田 芳生

今月号で取り上げましたが、高梁市総合計画の前期基本計画が今年度から令和12年度の後期基本計画の実行に向け、現在、計画策定を進めています。市は、人口減、特に女性、若者、子育て世代や子ども減少が諸課題の根本にあります。他方、昼間人口は多く、仕事や教育では選ばれるまちでもあります。これは本市の特徴でありチャンスと捉えて、移住定住に結び付けたいと考えています。また、本市には、伝統行事や歴史的建造物、文化、特産品など他にはない素晴らしいものがあります。こうした資源を市民の皆さんとともに、シビックプライドの向上、経済振興を図るべく取り組みを進めています。今後も人口減少は避けは通れない課題ですが、社会・経済情勢などの変化を克服し、市民の幸福度の向上に努めています。

一方で、さまざまな地域課題を抱えた厳しい状況下においても持続可能な行財政運営を実現するため、「高梁市行財政改革プラン」（令和6年3月）に沿って、計画の推進に取り組んでいるところであります。さらなる物価高騰や賃金上昇などにより、策定時の想定を大きく上回る収支不足が見込まれることとなりました。この急激な社会環境の変化に対し、緊急で3年間の「強化集中プラン」を策定し、危機的状況に対応していくことをしました。

市民の皆さんに負担増のお願いをせざるを得ない状況であります。が、率先垂範して、市長・副市長・教育長の給与、管理職の勤勉手当をカットを行います。また、公共施設や指定管理料等についても方針を定めて取り組みます。ただし、移住定住、子育て、教育、地域支援等については、効率だけを追い求めるのではなく実情に合った対応をしていくことが重要と考えています。

将来の世代へ安心して暮らせる高梁市を引き継ぐために、市民の皆さんには今後も市政に対するご理解、積極的な参画をお願い申上げます。

（令和6年3月）に沿って、計画の推進に取り組んでいるところであります。さらなる物価高騰や賃金上昇などにより、策定時の想定を大きく上回る収支不足が見込まれることとなりました。この急激な社会環境の変化に対し、緊急で3年間の「強化集中プラン」を策定し、危機的状況に対応していくことをしました。

（令和6年3月）に沿って、計画の推進に取り組んでいるところであります。さらなる物価高騰や賃金上昇などにより、策定時の想定を大きく上回る収支不足が見込まれることとなりました。この急激な社会環境の変化に対し、緊急で3年間の「強化集中プラン」を策定し、危機的状況に対応していくことをしました。

成羽病院通信

問成羽病院 ☎42-3111

放射線室長

骨密度検査について

病院・クリニックでは、いろいろな検査が行われています。今回は、その中でも骨密度検査についてお話しします。昨今、日本は長寿になったことで高齢者が増え骨粗鬆症の患者数も増加傾向にあります。腰椎（腰の骨）の圧迫骨折（いつの間にか骨折）や大腿骨近位部（太ももの付け根）骨折をすることで、老後の生活の低下を招き、寝たきりや死亡の原因につながります。骨密度検査の主な目的は、骨粗鬆症の診断や治療効果の判定、骨量減少の早期発見です。骨密度を測定することで骨の強さを判定し、将来的な骨折リスクを評価・低減することを目指します。

骨密度検査とは

骨に含まれるカルシウムなどのミネラルの量を測ることで、骨の頑丈さを調べる検査です。検査方法は施設によって異なりますが、X線や超音波などを用いて行います。骨密度が低下した状態になると、骨折しやすくなります。背骨（脊椎）がつぶれたり、変形したりすると背中の痛みも現れ寝たきりの原因

にもなります。

腰椎、大腿骨近位などを用いて測定します。また検査時間は10~15分程度と比較的短時間で行えます。検査当日の注意点

測定範囲に金属・プラスチック・湿布・カイロなどがある場合、撮影部位によっては外していただくこともあります。胃の検診などでバリウムを飲んだりしていると診断の妨げになるのでご注意ください。また、腰椎や股関節など検査部位に金属が入っている場合や妊娠中、または可能性のある人は、必ずスタッフにお知らせください。

高齢者になられたら定期的に最寄りの病院・クリニックなどで骨密度を測ることをお勧めします。早期に予防して健康に過ごしましょう。

骨密度検査について気になることがありましたら病院・クリニックなどのスタッフにお尋ねください。